

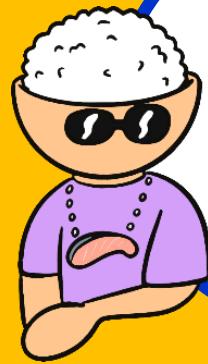


すくわくプログラム報告書

ピノキオ幼稚舎和田保育園・きりん組（5歳児）



実施期間：2024年7月12日～2025年3月11日



テーマは…
『食』 !!

テーマ設定の理由

すぐ近くプログラムに取り組むにあたり、子ども達に
「保育園で『なんでも好きな事やっていいよ』ってなったらどんな
事をやってみたい？」
と質問をしてみました。すると…



色んな意見が出てきました！

子ども達から出た意見

- ・保護者を招待してパーティ
- ・クッキーづくり
- ・クッキング
- ・お化け屋敷
- ・おやつ作り
- ・みんなで氷鬼



みんな食べ物作りに
興味があるみたいだ
なあ・・・
よし！

クッキングが一番人気だったので、色々なクッキングに挑戦できる

ようにテーマは幅広く『食（食べ物）』に設定する事にしました！

さあ、いよいよ すぐわくプログラムのスタート！

まずは一番よく食べる身近な食べ物についてみんなで考えていくと、

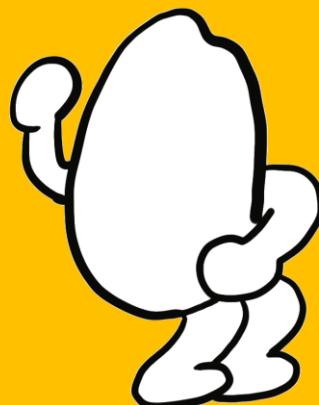
毎日食べているものは『お米』でした。

「クラスでお米を炊いてみようか！」

「え、お部屋でご飯作るの？」

「やった！」

さっそく、準備開始！



取り組みその①

炊飯の為に用意した道具

米・炊飯器・米びつ・計り

クラス内に炊飯器を用意し、
お当番の子が毎日人数分のお米を
炊飯する事に。

お米の炊飯（毎日）



保育者：「すりきりで5杯だよ」

K君：「すりきりって何？」

保育者：「カップに1杯掬って、その後指で
ス～って山になってる所を落とすの」

K君：「へ～」

初めての炊飯は緊張感たっぷりでした 笑





「自分達で炊いたお米って、美味しい！」



炊きたてのほかほかご飯にみんな大喜び！

「いつのご飯より美味しい！」

「熱いから、ふーふーしないと火傷しちゃ
いそう！」

『自分達で作っている』という喜びも増えて、
より給食の時間が楽しみになっていった子ども
達の姿がありました。

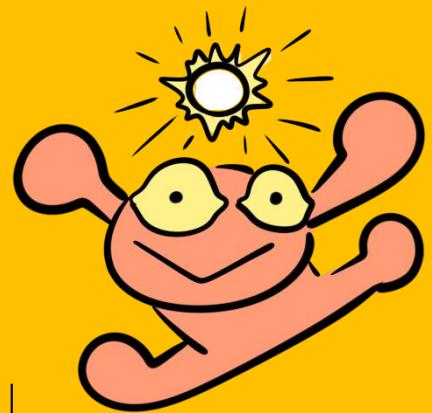


炊飯器での炊飯に慣れてきたある日。給食中の子ども達がこんな会話を交わしていました。

「僕、前にキャンプで火い使ってお米作ったよ」

「知ってる、小さい鍋でやるんでしょ？僕もやったことある～」

これはチャンス！！



保育者：「ねえ、みんなでもお米を鍋で炊いてみる？」

子ども達「え、やりたい！」

満場一致で次の取り組みが決定。

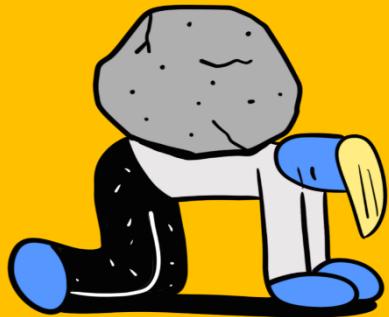
早速鍋での炊飯に挑戦してみよう！という事になりました。

ところが……

取り組みその②

お鍋で炊飯

「鍋に目盛りが付いてない！！」



炊飯器と違って、用意した鍋には水の量が分かる目盛りが付いていない事に気付いた子ども達。話し合いが始まりました。

「定規あるよ、定規で 6~7 センチ位じゃない？」

「定規汚いからご飯汚れちゃうじゃん」

「お鍋が透明だからさ、炊飯器に重ねていつも通りにやってみたらいいんじゃないかな？」

「確かに！」

良いアイディアだったのですが、実際にやってみると大きさが違うので上手く量れません。

底が浮いてガタガタ

揺れちゃう…



「ていうかさ、炊飯器にいつも通りお米と水入れてさ、それを鍋に移し替えれば良いじゃん！」

「ほんとだ！」

「よし、やろう！」

一人の素敵な発想で無事問題を解決する事が出来ました！



《浸水前のお米の比較》

炊飯の為に用意した道具

米

ガラス製の鍋

卓上コンロ

ガスボンベ

プラカップ（お米の観察用）

色も違うよ！



浸ける前はお米に線

が入ってるよ！

お米もしっかり浸水させて、いよいよ炊飯スタート！

でも、火力はどうする・・・？

「強火！」

「え、怖いよ。弱くしとこうよ」

「だったら中火で良いんじゃない？」

「え～、絶対強くが良い！強くして
から中火とか弱火にすれば良いじゃん」



話し合いの結果、

『鍋の様子を見ながらその都
度火加減を調節する』

という事に落ち着きました。



熱いから

汗かいてるよ！



せんべいの匂い
がする！

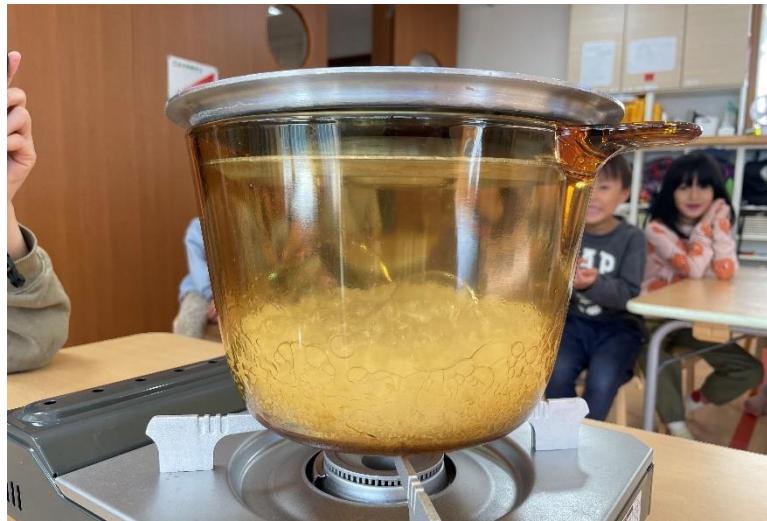
子ども達の炊飯スケジュール

11:24 炊飯開始（強火）

11:25 泡が出始めた（中火）

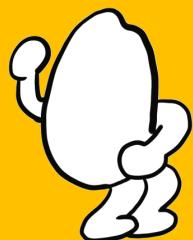
11:26 泡が上がって来た（弱火）

11:32 泡が下がってお米の中に入って行ったから完成！



「炊けた！！よし、食べよう！」

と思ったら…



「蓋が開かない！！！！」

なんと鍋蓋が鍋とくっついて離れなくなってしまいました！

「どうしよう！」



「ご飯の事は給食の先生に聞きに行こう！」

給食室へ向かった子ども達。

お鍋でご飯炊いてたら、フタ
が取れなくなっちゃいました
…どうすればいいですか？

「お鍋の中の空気が熱さでぎゅう～って集まって蓋を中から
引っ張てるんだよ。『涼しいよ、出ておいで』って冷やして
あげたら蓋を開けてくれるよ」

なるほど！みんなでお鍋を冷まそう！

扇げー！！



お散歩用帽子で必死にお鍋を冷ます子ども達。さあ、無事に蓋は開くのでしょうか…？！

あ、開いたー！！！！



超いいにおい！

苦労の末、ようやく蓋を開ける事に成功した子ども達。

待ちに待った実食タイムです！

「いらっしゃいま～す！！！」

炊飯時間がかなり短かったので出来上がりが少し不安でしたが、

帽子を使ってお鍋を冷ましている間に適度に蒸らされて程よい炊き
加減になっていました。





「ちょっと柔らかいね」

「でも味が違ってさ、いつものご飯より美味しい？」

「なんかちょっと苦いけどさ、炊飯器で炊くより美味しい」

みんなで知恵を出し合って、協力をし合って炊き上げた努力のお米

はやっぱり一味違う様。

たとえ失敗していたとしてもきっとみんな『でも美味しいね』って

思えただろうね。

初めてのお鍋炊飯、お疲れ様！！



他のクラスの
先生たちにも
おすそ分け！

こぼれ話

出汁をとろう！

「お米に合うものも作ってみようよ」という事でみそ汁作りも行いました。

みそ汁について調べる中で『出汁』の存在を知った子ども達。昆布とカツオの出汁をとってみそ汁作りに挑戦する事に。

近所のスーパーマーケットに出汁用昆布とカツオを買いに行き、出汁をとりました。



用意したもの

鰹節・花鰹・だし昆布（2種類）・顆粒出汁（カツオ・昆布）・味噌・卓上コンロ・ガスボンベ・ボウル・ざる・おたま・鍋・お湯・紙コップ（飲み比べ用）

「カツオは美味しいけど、昆布あんま味しなくない？」

「顆粒出汁の方が味がする」



おいしくなる…？？



味ある？

うすあじ…



お味噌汁作り、楽しんでいたようですが

「別の物でも試してみよう！」という声
は上がらず。

ひとまず 1 度きりのクッキングとなりま
した

取り組みその③ おやこクッキング

子ども達の取り組みを伝えたいな…という思いから

親子クッキングを企画しました。

夕方保育園に集まって、お米を炊いておにぎり作り。

おかげでハンバーグとコールスローサラダを作りました！



めっちゃおいしい！



お母さんお父さんも、
友達も一緒に特別な時間。
みんな終始ニコニコです♪



ちょっとしたクリスマス会♪
保護者の皆様からも好評でした！



こぼれ話

はじめてのおつかい

親子クッキングは現在2回開催されています。

2回目のクッキングの際は材料を子ども達だけで買いに行くという
『初めてのおつかい』も体験。

※実際には保育者が変装をして後ろから尾行しました。

保育者：「今回はみんなだけでお買い物してもらうからね、頑張って！」

子ども達：「えっ！？子どもだけなの？先生一緒じゃないの！？」

子ども達：「うわあ～超緊張する～！」

ドキドキワクワクの初めてのおつかい。

3～4人のチームを作り、お金を払う人、
かごを持つ人、店員さんに聞く人、等
役割分担をしたりイメージトレーニングを
する子の姿も 笑

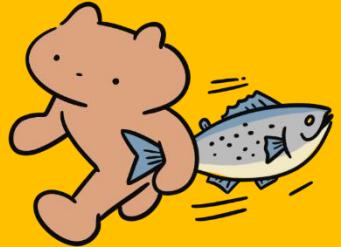




準備OK、いざ出発！！

重大ミッションを抱え、緊張感たっぷりの子ども達。

見送る私たちもドキドキです…！



分からぬ事は店員さんに聞いたり、

「ちゃんとみんないるね？」と声を掛け合ったり、

保育園とはまた違った頼もしさを見せてくれ

ていました。

ちゃんとお買
物出来たよ！



無事にお買い物を終えた子ども達の表情は

達成感から満足げ。

どこか自信にも満ち溢れているような…



また一つ成長したね♡みんな、お疲れ様！！

取り組みその④

お米の産地

S君：「こ・し・ひ・か・り・って書いてあるね」

保育者：「コシヒカリって何か知ってる？」

S君：「…お米の事でしょ？」

保育者：「この前のお米は『あきたこまち』だったんだよ。お米って色んな種類があるんだ」

S君：「ふ～ん…」

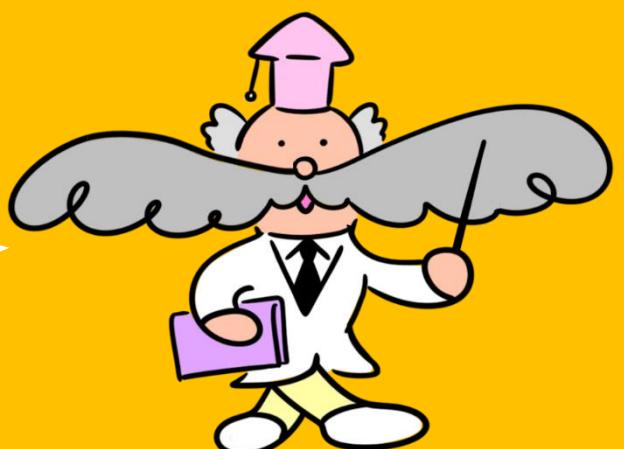
Aちゃん：「うちのお米は福島から来てるんだよ！」

こんな会話から

『お米の種類と産地についてお家の人に聞いてみよう！』

という事に。

さあて、お家ではどこのお米を食べているのかな？





「うちのお米は『はえぬき』ってやつだった」

「うちは『しんのすけ』ってお米だって！笑」

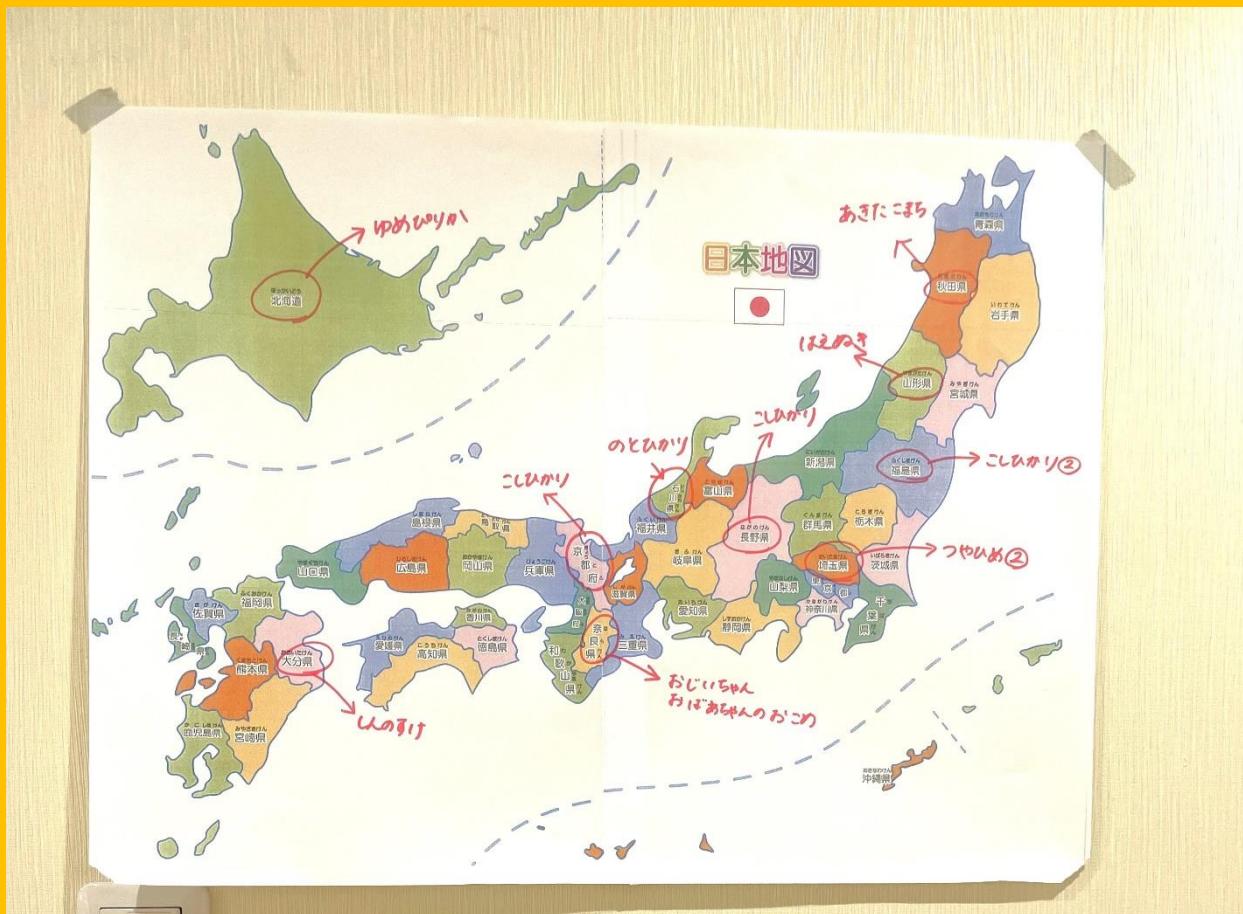
「クレヨンしんちゃんじゃん！ 笑」

お家のお米について調べてきた子ども達。日本地図で産地の場所も確認してみました。



お米の名前ってどうやって決めてるんだろう？

こちらが 子ども達のお家のお米の産地。↓



保育者：「面白い名前のお米もあったね。みんな、お米の事調べてみ

て他に気になった事とかある？」

色々な『なんで?』が飛び出しました。

おこめのなん(?)? ()

おこめのなまえはどうやってきめるの? ()

おこめ()

1. おこめってなんしゅるいあるの? ()

6. 「つやひめ」はなん? 「つや」とか「ひめ」なの? ()

2. おこめのたねはどうからくるの? ()

7. なんじ おこめをたべるの? ()

3. おこめは どうで? できるの? ()

4. おこめはどのきせつにできるの? ()

じぶんのなまな「なん?」を
しゃべてみたねえ

いちかべつにねーたら
といかんにいのくわんがくも
しゃべりがわなへ //

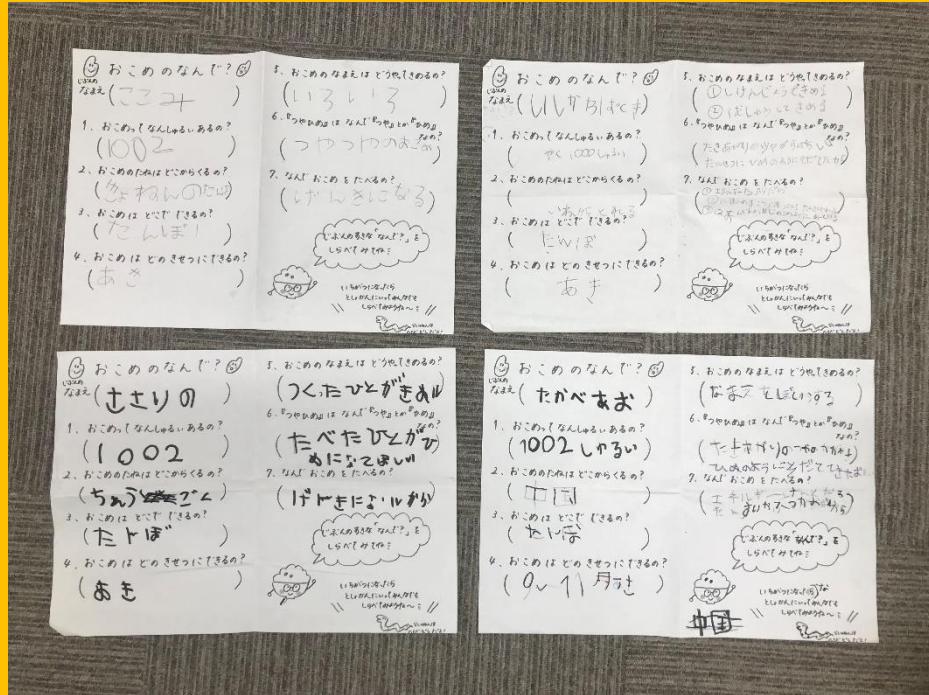


そこで、年末年始のお休み中に気になる『なんで？』を調べてみる事に！

年末年始のお休み明け。

子ども達が調べてくれた『なんで？』が集まりました！

じゃん！！



かなりしっかり調べてくれていてびっくり！

自分で調べられなかった子もいたので、みんなで図書館にお米につ

いての本も探しに行きました。



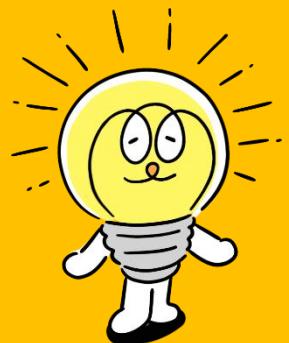
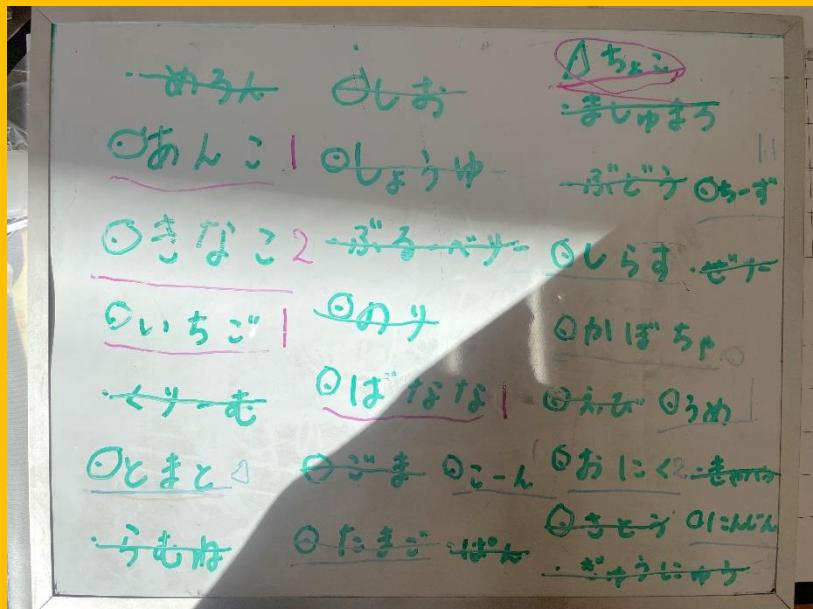


食べ物図鑑を眺めていると、上新粉（うるち米の粉）からおせんべいが作れる事を知った子ども達。「作ってみたい！」という声が上がって来たのでおせんべいづくりに挑戦してみる事に！

「何せんべいを作ってみたい？」

「ゼリーせんべい！」「マシュマロせんべい！」「お肉！」

大人の考え付かない自由な発想のおせんべい案がどんどん出てきます…



話し合いの結果今回は

醤油せんべい、塩せんべい、チョコレートせんべい、
バナナせんべい

4種類を作ってみる事になりました。はてさてどんな結果となるのか…

取り組みその⑤

せんべいづくり

おせんべいの作り方

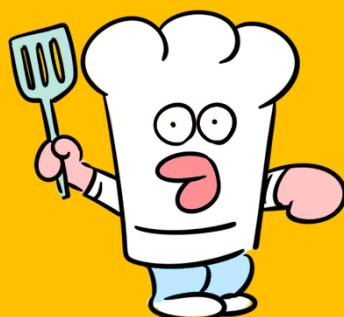
- ① 上新粉をお湯で練る
- ② ポリ袋に入れて揉み込む
- ③ 小さくちぎってお湯で煮る（生地が浮いてくるまで）
- ④ ざるにあけて冷まし、更に揉む（耳たぶくらいの柔らかさになるまで）
- ⑤ 生地を薄く延ばす
- ⑥ 2~3日天日干しにする（半透明になったらOK！）
- ⑦ 焼く
- ⑧ 完成！

手順の確認をしながらバナナせんべいやチョコレートせんべいの具材はどこで混ぜ込むかも決めました。



今回は⑥の天日干しの手

順を飛ばして作ります！



用意したもの

上新粉、お湯、サラダ油、醤油、バナナ、バナナチップ、チョコレート、ざる、鍋、ジップロック、ポリ袋、ゴムべラ、紙皿、卓上コンロ、ホットプレート、フライ返し



お湯で軽く練った生地をポリ袋に入れてもみもみ・・・

「うわ！袋破れた！！」

「べとべと～」

ちょっとしたハプニングはクッキングに付きもの。

みんなでワイワイしながら調理を進めています。

捏ねた生地をお湯
でグラグラ～



チョコレートを
湯煎で柔らかく
しておきます。



下準備でバナナチップを細かく
碎いたり…

「お餅みたいな匂いがしてきた！」

「ほんとだ！」



茹でた上新粉はぷるぷるしていておもちのようなにおいがしていました。さて、お次は薄く延ばしましょう！



「うまく延ばせない～」
「難しいね・・・」
キッチンペーパーに挟んで
生地を延ばすのに苦戦する

子もいましたが、なんとか無事に形成完了！



「ちゃんと焼けたかな…？」

ホットプレートにのせた生地がちゃんと焼けているか気になるようで何度も焼き加減を確認する子ども達。

焼き上がりが楽しみで仕方がない様子が伝わってきます 笑

うきうきしながら待っていると少しずつこんがりとしたいい匂いが部屋の中に漂ってきました・・・

やったー！焼けたー！！！





「おいしい！」

「めっちゃ美味
い！」



最高！



美味すぎる～！

香ばしい醤油せんべい、素焼きのおせんべいにチョコレートを付けて食べるチョコレートせんべい、バナナチップとバナナを練り込んだバナナせんべい・・・どのおせんべいも大好評！！

みんな大満足の味だったようです◎

振り返り

『食』をテーマに設定したので色々な食べ物について調べていくのかな？と思っていましたが、今回は子ども達の興味・関心がお米に向かっていたため『お米』を中心の活動となりました。炊飯から始まり、調理や親子クッキング、初めてのおつかい、産地調査…一つのテーマから色々な活動が広がり、子ども達と共に展開を広げていく私たちも様々な発見と楽しさを味わう事が出来ました。

そしてなにより感動したのは子ども達が『やってみたい』となっている瞬間。どの子もこの子も全員が自分（達）が主体となってそれが自分の出来る事を、出来る事で協力し合っていた事です。調べものや話し合い、お買い物、調理など様々な活動があつたのですが一連の活動を通して誰一人「出来ない」「やりたくない」といった声は上がらず、「もっともっと！」と全員が意欲的かつ、主体的に動いていました。

報告の経過の中にもあったように、活動中子どもたちはお鍋の目盛りがない！鍋の蓋が開かない！といったハプニングが起きたり、お買い物では売り場が分からぬ！といった問題に直面しました。そんな中私たちちはその問題に答えを出さず見守ることに徹したのですが、子どもたちはしっかりとみんなで意見を出し合い協力をしてそのハプニングや問題を乗り越えていっていました。

子どもたちの「もっともっと！」という『知ろう・やろう』とする探求心や好奇心は子ども達の『出来ない事を出来るようになるにはどうした良いのか？』という発想に繋がり、自分の出来ない事は周りと協力する、という形になったのではないかと感じた瞬間でした。

体験を通して知識を深めるだけでなく、子ども達の集団性も育むことの出来た今回のすくわくプログラム。就学後に期待される『主体的・対話的で深い学び』はこのような活動から生まれていくのだろうな、と思います。

今回様々な活動を楽しんだことで子どもたちの興味関心は『お米』から『様々な原料』へ発展していっています。

大豆や小麦といった原料から作られるもののクイズなどをして樂しみながら学んでいる姿もあり、更に食べ物への学びを深めてい る子ども達。卒園間近の為出来ることは限られていますが、子どもたちの『なんで？』にしっかりと耳を傾けて実験や体験を行っていきたいです。

また、この子達の学びがこの場で終わってしまうのは勿体ないの でこれまでの活動の振り返りを発表する場を作り、その取り組み を次年度の子ども達への期待へと繋げていければな、とも思って います。

楽しく学び、楽しく育つ！

『楽しい！』はすべての原動力！

とても素敵な時間でした😊



2025年3月13日